

令和4年度国立大学法人東京海洋大学第3回経営協議会議事要録

日 時 令和4年12月2日（金） 14:00～15:30

場 所 本部管理棟 第一会議室（品川地区）及び Webex によるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、池田委員、井手委員、井上委員、荻上委員、炭井委員、
舞田理事、庄司理事、桑田理事（兼事務局長）、工藤理事、渡辺理事

オブザーバー 青山監事、久保田監事、岡安副学長、婁副学長、元田海洋工学部長、
田中海洋資源環境学部長、兵藤海洋科学技術研究科長

事務担当者 永井総務部長、真下財務部長、小野学務部長、安達企画評価課長ほか事務関係者

議 事

【審議事項】

1 就業規則の改正について

桑田理事から、資料1に基づき、非常勤講師就業規則の制定及び競争的研究費等に係る研究代表者等特別手当の支給にかかる諸規則の改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

1) 非常勤講師就業規則の制定について

○非常勤講師の給与水準は国立大学法人間で横並びなのか。業績やスキルに応じて若干の上下があるのか。

●手当などの部分で多少の違いはあるが、国立大学法人の給与体系はほぼ同一になっている。

●非常勤講師の給与の設定にあたっては、職歴や経験を加味して給与を決定するとともに、ノーベル賞の受賞者等への処遇については今後検討を進めていく予定である。

○複数の教育機関で非常勤講師を担当している場合、雇用関係が複雑になる恐れがあるのではないかと。

●従来通りの委嘱か、雇用契約か選択できるので、非常勤講師の希望に合わせて使い分けてもらう予定である。

2) 競争的研究費等に係る研究代表者等特別手当の支給にかかる諸規則の改正について

○競争的研究費等を多く獲得することで、大学が豊かになり研究活動が活発になると思うが、インセンティブ付与について、教員間の競争が激しくなりすぎると、偏りが出てくるのではないかと。

●教員は研究だけでなく、教育や管理運営等も担う必要があり、研究だけに時間を当てることは難しいので、所属部門で了承のうえ適切な時間数を決めていくという仕組みになっている。

○研究代表者 (PI) の負担は大きいため、PIにインセンティブを付与することは重要であり、より多くの競争的研究費を獲得した教員が、処遇の面でも優遇されるべきである。

●そのような方向で進んでいきたいと考えている。研究以外の大学の業務も担う必要があるため上限はあるが、手当の支給や、研究環境の整備に当てられるため、教員には当制度を利用して欲しいと考えている。

【報告事項】

1 令和元年度・令和2年度学長裁量経費「大学改革・機能強化等推進事業」採択事業にかかる学長賞の決定について

学長から、資料2に基づき、令和元年度・令和2年度学長裁量経費「大学改革・機能強化等推進事業」採択事業にかかる学長賞の決定について報告があった。

2 令和4年度科学研究費助成事業概況報告及び令和5年度科学研究費助成事業応募状況報告

岡安副学長から、資料3-1及び3-2に基づき、令和4年度科学研究費助成事業概況報告及び令和5年度科学研究費助成事業応募状況報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○大学として目標値を設定し、PDCAを回すべきだと思えるが、そのような仕組みはあるのか。また、実態が分かるように、見せ方として5年や10年等長い期間の傾向を見せると良いと思う。

●基準となる値は設定していないが、科研費の採択数や採択率が国立大学法人の評価対象となっているため、大学として数値を上げていきたいと考えており、今後は、各部門でも議論の上、高い数字を目指していきたい。また、長期的な傾向の把握及びPDCA的に考えていくという点については、今後検討していきたい。

○大型の科研費を獲得するために、本学の研究分野の多様性を活かして総合的な力で大型プロジェクトにも取り組んでほしい。

●ミッション実現のため、第4期中期目標期間中の実現に向けて動いていきたい。

3 外部資金の受入状況報告（平成30年度～令和3年度）

岡安副学長から、資料4に基づき、外部資金の受入状況報告（平成30年度～令和3年度）があった。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○海洋政策文化学部門は文系なので、外部資金が少ないと説明があったが、研究内容の広報活動が重要である。各部門が融合し、総合知として寄附金等の獲得を伸ばすことはできないのか。

●海洋政策部門においては、学生を使わない調査研究が主体のため、外部資金を獲得すると教員の手が回らなくなるということが、共同研究が少ない理由にあるのではないかと思う。今後は、寄附金等の獲得を目指していきたい。

○大口の寄附獲得について、引き続き努力してほしい。特に、水産・食品関係の企業は多いので、何かの形でアピールして資金を集めるとよいと思う。また、潮流発電のテーマは企業からの注目を浴びると思うので、積極的に情報発信をしてほしい。

●企業とのコネクションを強め、積極的に情報を発信し、産学連携を強力に推進していきたい。

4 会計検査院 令和3年度決算検査報告の概要について

桑田理事から、机上配付資料に基づき、会計検査院 令和3年度決算検査報告の概要について報告があった。

5 令和4年度大学祭の開催報告について

庄司理事から、資料5に基づき、令和4年度大学祭の開催報告があった。

以上

配付資料

○令和4年度第2回経営協議会議事要録

資料1 就業規則の改正について

資料2 令和元年度・令和2年度採択 学長裁量経費「大学改革・機能強化等推進事業」学長賞受賞者の決定について

資料3-1 令和4年度科学研究費助成事業 概況報告

資料3-2 令和5年度科学研究費助成事業応募数の推移（令和4年度との比較）

資料4 ・外部資金受入実績（平成30年度～令和3年度）

・（参考）寄附金受入一覧（寄附金額150万円以上のもの）

資料5 令和4年度大学祭の開催報告について

机上配付（又は追加資料） 令和3年度 決算検査報告の概要